

友好町村交流のあゆみ

◆富山県平村から入植

明治29年 富山県平村より40戸が羽幌町の平地区に入植。

明治33年 富山県平村より獅子舞道具を持ち帰り「平越中獅子舞」として、現在まで保存伝承。

友好町村締結への歩み

昭和51年10月 母村と獅子舞の源流調査及び行政視察のため、羽幌町議会議員一行8名が平村を訪問。

昭和52年8月 羽幌町長を団長として「母村親善訪問団」一行30名が平村を訪問。

昭和53年7月 平村長を団長とし一行30名が羽幌町を訪問。羽幌町開基80周年記念と平地域開拓80周年記念の交流。(友好町村締結の意見が出る。)

昭和54年9月 平村で友好町村調印式。

友好町村締結後の交流

昭和54年9月 羽幌町筑 唄愛好会 設立。五箇山民謡のこきりこ唄を継承。(現在の羽幌町筑 唄保存会)

昭和54年11月 児童文化交流作品展を両町村において開催(以降毎年開催)

平成元年8月 平村村制100周年記念、友好町村10周年記念、平村郷土館落成記念に羽幌からトドの剥製を寄贈。

平成11年7月 友好町村締結20周年記念に羽幌町から「化石」を贈り、平村からは木彫り「嬉しい風」が贈られた。

20周年記念式を羽幌町で開催。

交流の新しい流れ

平成16年11月 平村を含む富山県砺波地域8町村が合併し、南砺市が誕生。

平成19年7月 南砺市平地域交流の会 一行12名が羽幌町を親善訪問。

平成20年10月 羽幌町長、町議会議長、総務課長が南砺市を表敬訪問。



平地区のこきりこ館で、越中五箇山こきりこ唄保存会の方々から、本場のこきりこ踊りの実技指導を受ける

友好町村締結の年に設立の羽幌町筑子唄保存会でも記念事業を実施。中学生と高校生13名の実技研修を目的として町の補助を受け、一行32名が3泊4日の日程でこきりこの故郷を訪問しました。初日、金沢市内見学の後、2日目に平地区へ。越中五箇山こきりこ唄保存会の方々から、本場の踊りや演奏を学びました。夜は相倉合掌造りの集落に宿泊。3日目は、南砺市合併5周年記念五箇山文化祭を見学、小学生、高校生が参加の郷土芸能の舞台を鑑賞しました。また、

研修を受けた中高生の声
踊りの次元が違うのでびっくりした。ああいうふうには踊れるようになりたい。(佐藤礼くん)
五箇山文化祭で高校生や地域の人の踊りを見て、迫力が違うと思った。(富居充貴くん)
首の曲げ方や腰の落とし方など地元の人とは違うなと思いました。(高野友里さん)
大切なのはこれからの練習に活かすことだと思いました。(行町圭太くん)

さらさらなどを製作している楽器工房も見学。4日目、平地域見学の後、帰町しました。

11月1日〜4日 準会員の中学生と高校生も参加 羽幌町筑子唄保存会 本場で実技を研修

羽幌町・富山県平村(現・南砺市) 友好町村締結30周年 ～深まる友好の絆～

友好町村の提携を結んだ富山県平村(現・南砺市)との交流が今年30周年を迎え、記念事業として、羽幌町から2つの訪問団が南砺市平地域を訪問しました。

10月28日〜30日 一般公募の町民も参加 友好町村締結30周年記念訪問団、式典に出席

友好町村締結30周年の記念事業として、町長はじめ、一般公募の参加者11名、議会議員8名、役場職員4名からなる訪問団一行24名が2泊3日の日程で南砺市を訪問しました。初日は、到着後、南砺市役所へ市長を表敬訪問。その後、平地区へ向かい、五箇山荘にて行なわれた30周年記念式典と祝賀会に出席しました。南砺市の田中市長や平地域交流の会の中島

会長、旧平村の圖書元村長他、平地域の方々が多数出席する中、これまでの交流を祝うとともに、今後の交流を約束し、「友好の絆」を深めました。翌日は、地域視察。五箇山和紙の里では和紙すきを体験。世界遺産相倉合掌造りの集落を散策後、城端曳山会館や棟方志功会館など、南砺市地域も合わせて見学し、富山市内で宿泊。3日目、羽幌町に帰町しました。



祝賀会では本場のこきりこ踊りや麦屋節が披露されました。

羽幌町からオロロン鳥のバードカーヴィングを平地区からはこきりこの和紙のちぎり絵を30周年記念として交換

一般公募の参加者の声

小高い丘から谷底に集落が見えたと、まるで雲の上から地上を見下ろしているようで、集落までの景色に驚きました。萱葺き屋根の集落は世界遺産ですが、実際に生活しながらその伝統文化を残すことはすごいことだと思います。(品田弘子さん)
平へ行き、心が洗われるようでした。大自然の中で生きる知恵が代々受け継がれ保存されたご苦労が世界遺産の登録となったと思い、感動してきました。(三谷美恵子さん)
一番に感じたことは、人の営みの重みというか、景色のすばらしさもあるが、人間が生きていくうえで、執念のようなものを感じました。南砺市の合併のお話なども聞くことができ、いい体験をさせていただいたと思います。(中山康彦さん)



雪化粧した合掌造りの里で記念撮影



夜は合掌造りの家でいろりを囲んで五箇山地方の歴史や文化を学ぶ



式典会場及び宿泊場所の五箇山荘の前にて記念撮影